



●さわやかインタビュー

## “サラ金110番” は県民の味方!

板野元次郎さんを訪ねて  
〈兵庫県商工部長〉

サラ金苦から、家出・自殺ノなどという悲劇が次々と起こり、大きな社会問題となっています。高すぎる金利、厳しい取立てなどの「サラ金被害」を防ぐために、昭和58年11月1日から「サラ金規制二法」が施行されました。兵庫県では、かねてから県内で起こったサラ金被害に県民サイドに立って対処してきましたが、その責任ポストにある板野元次郎・兵庫県商工部長にお話を伺いました。

行き過ぎた取立ては取締り

——まず、「サラ金規制二法」施行のいきさつをお聞かせください。

板野 もともとサラ金というのは、昭和35、36年頃、東京や大阪などの団地夫人を対象にした小口金融がはしりで、レジャー資金やちょっとした買い物に利用されてたわけです。その頃は景気もよかったですし、借りる金額も少なかったのですが、返済にもそれ程困らなかったようで、問題も少なかったのですが、昭和50年頃から業者が急激に増え、それに伴って、多額の借金等いろいろな問題が派生し、いわゆるサラ金苦が原因となった家出や自殺等の

問題が目立って来ています。その理由の一つは、金利が非常に高いということ、もう一つには、利用する人に金利などについての知識がないということです。なぜそんなのかと言いますと、せっぱつまって借りに来ているので、話はずぐにまとまって、金利の問題など後回しになってくるわけです。そこで、過剰貸し付けに基準を設けたり、取立ての行き過ぎを規制しようということで「貸金業規制法」と「改正出資法」のいわゆるサラ金二法が施行されたわけです。

——兵庫県では、サラ金苦で困っている人々を救済するサラ金110番という窓口を設けておられますね。

板野 サラ金110番というのは、昭和52年から全国に先がけて、商工部金融課をはじめ、各県民局等、県下に8箇所設けて相談を受けておりますが、その内容をみますと額が増えるにつれ、高い利息に悩んでいる、とか、取立てが厳しい、という相談が非常に多いですね。相談件数は年間約一千件あります。県では、それぞれの相談に対するアドバイスはもちろん、庶民金融業協会の債権整理のあっせんや、業者の実態調査をしたりしております。

——ところで県内で、どのくらい業者があるのですか。

**板野** 現在、届出ている業者だけで、県内で約一万件あります。新法では登録制になり、いろいろ資格要件ができたので、残るのはその半分以下になると思いますね。もっとも現在でも実際に営業をしているのは三千件足らずなので、それを少し上回るくらいではないかと思いま

す。

——取立行為などのトラブルをよく聞きますが、それも規制されるのですか。

**板野** 一番問題なのは、取立てや誇大広告ですが、これらについては、かなり規制されるわけです。例えば、大声をあげるとか張り紙をすとかの取立てに際しての迷惑行為、私生活が非常に乱されるといふようなこともある程度規制できるといふことになります。その他、過剰貸付け等の禁止、書面の交付、受取証書の交付等の業務上の規制を実施するようになったのです。

——つまり、サラ金二法の目的は、市民生活を守るといふことですね。

**板野** もちろん、そうです。ただ、業者の規制をする一方、利用者を指導することも非常に大切になってきますね。

### 正しい知識をもって上手に利用

——やはり、よくわかったうえで利用しないと問題が絶えないでしょうからね。

**板野** そうですね。まず、きちんとした返済計画を立てて借りることです。普通は、返済能力という返済金が月収の2割くらいですが、それを超えると借り過ぎをしたりして、ひどい人になると10軒以上のサラ金業者から借りています。そうなると雪だるま式ですよ。一時的に借りるのはいいけれど、返せる時にはできるだけ早く返すことですね。

——つまり、個人で借りる場合は、まずいろんな計画を立てたうえで、ということに落ちつくんでしょね。

**板野** だから、県としては、上手に利用するための知識を持ってもらうという意味で、利用する人が最低心得なければいけない事柄をPRしていくつもりです。

——業者の見分け方はありますか。

**板野** 数が多すぎて、どこがよくてどこが悪いということではできませんが、やはり、条件が合わなければそこで借りないということですね。業者に対しても講習会等を開いて指導しているのですが、これまでの法体系ではその効果を期待するだけで、それ以上の規制は出来なかつたのです。しかし、これからは行政サイドの規制を強力に行ってまいります。あわせて一般の利用者に安易な利用を避けてもらうことが大事だと思います。そのため、県・市・町の広報を通じて積極的にPRしていくようにしております。

——今後の見通しはどうですか。

**板野** わずかしいですが、これまでみたいな行き過ぎた取立てなどはなくなると思います。

——直接的な決め手でなくて、PRや業者への指導になりますが、積極的に進めてほしいですね。

**板野** 法律だけですべてを解決することは困難ですので同時に利用者に対するPRもどんどんしていかなければならないし、県だけではなく、有識者あたりも、できるだけいろいろなチャンスをつかまえて、PRしてほしいですね。また、個別に借りるのに立ち合いはできないので(笑)、利用者が自身をよく知らずに借りることだけは避けてほしいですね。

### △サラ金110番▽

- ・ 県庁商工部金融課 (078) 361-4694
- ・ 阪神県民局商工課 (06) 481-7641
- ・ 東播磨県民局商工課 (0794) 21-1101
- ・ 西脇商工労政分室 (07952) 2-5615
- ・ 西播磨県民局商工課 (0792) 81-3001
- ・ 但馬県民局商工課 (07962) 3-1001
- ・ 丹波県民局商工労政課 (07957) 2-0500
- ・ 淡路県民局商工課 (07992) 2-3541

カメラは



街の

サンタさん



子供にも  
いいもの

ヤングにも  
いっぱい

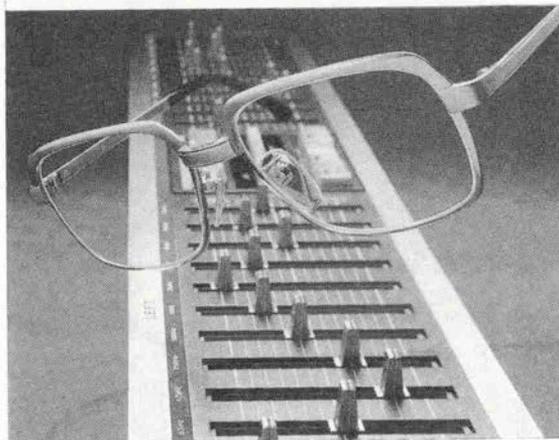
おもちゃの



カメラ

三宮方面でのお買物は…	元町方面でのお買物は…	神戸駅前方面でのお買物は…
☆Aちか店 ファリリータウン	元町店 元町通3丁目山側	サンこうべ店 神戸駅前地下街
☎391-4045	☎331-0090	☎351-6002
三宮店 センタープラザ1階	元町東店 元町1番街不二家前	名谷方面でのお買物は…
☎331-4969	☎391-0768	須磨パティオ店 須磨パティオ1番館
		☎792-4688

軽さ革命



軽量で耐蝕性

弾力性に富む

夢の素材〈チタン〉をメガネフレームに採用

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表  
三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

耳のよきパートナー

補聴器オーディオルーム

専門コンサルタント担当

- 防音室で聴力測定・補聴器微調整
- 耳穴にフィットする耳栓型取り

※補聴器は元町店で取り扱っています。

# ★神戸の集いから

★横尾忠則さんの豪華画集

出版記念パーティー  
世界を舞台に活躍中のイラストレーター、横尾忠則さんの画集出版に伴い、10月14日風月堂ホールで出版記念パーティーが催された。横尾さんは「地元での出版と、大勢の方との25年ぶりの再会が、何よりも嬉



夫人とならんで

しい」と挨拶。会場には、出版元の神戸新聞出版センター・松井高男社長、元永定正さん、灘本唯人さん、出身地の西脇高関係者ら100余名が集い、ニューペインティングの旗手としての活躍を期待し、励ました。  
★《コマツヤ》センター街本店25周年を迎えて  
三宮センター街の婦人服地と服飾の店《コマツヤ》が25周年を迎え、新装開店記念と共にパーティが11月1日オリエンタルホテル大宴会場で開かれた。  
25年のあゆみのスライド

や、スピーチも、石井一夫、神戸経済局長緒方学さん、神戸地下街専務森本泰



上/コマツヤ社長夫妻  
下/スピーチを聞き入る来賓

好さん、芹沢豊男社長など次々と続き、特に森本専務の「ファサードアートの分野を切り拓いたセンスのよさはバグン」と新谷英子さんの作品「シャルマン」の完成で、そのファシヨナブルな店創りに印象深い讃辞をよせた。フィナーレはオリジナルの作品のショーもあり、《コマツヤ》らしい集いとなった。

★三村逸子作品展、森鈴子作品展

オーブニングパーティー  
北野坂のサロン&ギャラリー神戸時代に於いて、三村逸子さん、森鈴子さんの作品展がそれぞれ10月17日、31日、11月1日、15日に開かれ、各展覧会初日にオーブニングパーティーが催された。  
10月17日の三村さんのオ

ープニングパーティーには、行動美術の田中徳喜先生をはじめ、学生時代の仲間や美術家の仲間達が集まり、壁面に並べられたポップアート調の作品群を話の肴に作品展を祝う歓談の時間が、最後まで楽しく続いた。



三村さんとその仲間たち

また、11月1日に開かれた森さんのパーティには、評論家の赤根和生先生、田

中徳喜先生、現代美術作家の森英夫先生などたくさんの方が森さんを囲んで祝杯を上げた。アーチストであり、デザイナーの仕事にも携わっているということでデザイン化されたアートであるその作品に対して批評や賛辞の言葉を頂戴し、終



森さんの抽象画をバックにして記念撮影

始なごやかな雰囲気。三村さん、森さんとも若手の有望作家で両パーティとも非常に若々しいムードに溢れた。パーティになった

## ♡小泉パーティご案内

### ●小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円 ・年会費 10,000円

### 神戸マリッジへ (無料)

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介いたします。

### 《協賛店》

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510 コミュニティサービス内室392-0200 小泉正巳

こんにちは赤ちゃん



平野雅之ちゃん / 伊丹市荒牧

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科

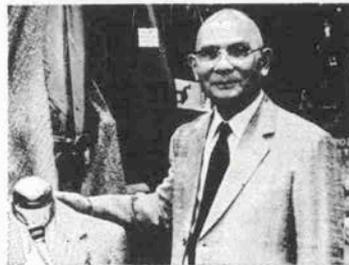


芦屋市大柵町1番18号

芦屋保健所東隣

☎ 芦屋 (079) 31-1234 代表

ハイセンスな紳士服で  
最高のおしゃれを



三恵洋服店

神戸・元町4丁目 ☎(078)341-7290



# 神戸独自のイベントを 都市活性化の起爆剤に

□ 出席者 □

鬼塚喜八郎

△神戸アシックス代表取締役社長  
△神戸トータルファッショングループ実行委員長

伊賀

隆

△神戸大学経営学部教授

諸岡

博熊

△UCCコーヒー博物館準備室室長  
△つくば博出展準備室室長

大阪では、今年の大阪築城400年祭をはじめ、大阪21世紀計画が、10月には華やかなパレードを皮切りに好調なスタートをきり、その他にも国際ファッショングループエスティバルや国際デザイン会議などが着々と進行中です。こうした状況の中で、作家の堺屋太一氏は、「これからの地域社会の活性化は、イベントによって図られるべきだ」と主張されており、神戸でも、来秋の神戸トータルファッショングループ、60年のユニバーシアード神戸大会など、さまざまなイベントが組まれております。今回は、日頃から神戸の活性化にとりこんでおられる方々にお集まりいただき、自由な夢のあるお話をお願いしたいと思います。

★イベントづくりが都市を活性化させる

鬼塚 私はイベントによって都市の活性化を見いだしていくことは大変意味のあることだと思います。ポートピア

ア<sup>81</sup>が大成功に終り、これを起点として昭和60年に開催されるユニバーシアード神戸大会の中間を埋めるイベントとして、来秋に神戸トータルファッショングループが予定されています。これは、ポートピア<sup>81</sup>で盛り上りを持続していくとともに、神戸市がファッショングループ都市宣言をして10年という節目を迎え、神戸の市民と一緒に地場産業が一つの大きなイベントを組んだらどうだろうという考えが具体化したものです。

かつて、神戸は鉄鋼、造船という基幹産業が大きな牽力を開いてその下にさまざまな産業が成り立っていたわけですが、時代とともに産業構造が変化し、需要の構造も2次から3次産業へと移行して、新しい生活を提言する関連産業が発展してきました。とりわけ、衣食住に関する地場産業が神戸では非常に勢いで成長していった。その一つがアパレル業界で、婦人服子供服を合わせると、この20年間に約3000億円の市場になってきたこと、

さらにスポーツ関係では約1000億円、ケミカルチェーンズについても約1000億円産業に伸び、真珠業界を中心とする装身具でも同様の成長ぶりです。これを展望した上で、新しいライフスタイルを構成していくさまざまな生活関連産業群を、われわれとしてはファッション産業と位置づけ、さらにこれらをトータルな形でアピールしていくと考えてきました。もちろん、今ではインテリア、つまり家具も含み、そこで生活をしていくわけですから、飲食も含まれます。このように、神戸でなければかもしないような豊かな21世紀のライフスタイルを提供していく産業群を、トータルの演出することによって日本へ、さらに世界へ向けて強烈にアピールしていく、という提言が今年の正月に、商工会議所の石野会頭よりなされました。これを持っていたように、兵庫県も神戸市も加わって、トータルファッションフェアを行なおうということになり、先日、通産省の後援を受けて商工会議所を中心とした神戸トータルファッションフェア協議会が発足しました。

従来のショーというのは、物を陳列して作る側が消費者に一方的に見せる見本市的なものでしたが、今回のショーはこのあり方を大幅に変え、消費者とともに見つける新しいスタイルを演出しようというものです。県下の28の関連団体が加わり、実が大がかりな楽しいショーを来年11月にくり広げられるわけです。また観点を考えると、関西の復権を目的として、大阪通産省が中心になってファッション産業の育成を進めてきたのですが、大阪、

京都、神戸の各都市がそれぞれの持ち前の特色を出すことによって、活気に溢れた華やかな関西が外部に強い印象を与えることとなります。さらに神戸で今、推し進めている神戸トータルファッションフェアは3都市の中でも個性豊かな特色の一つになることはまちがいありません。

諸岡 神戸トータルファッションフェアについて、テーマ委員会で多くの先生方の意見をいただき、この度とても神戸らしいテーマが生まれました。それは「神戸を語ろうファッションフェア」で、サブタイトルには「ヒューマン、ライブ、クリエイティヴ」が掲げられ、このテーマのもとにフェアを展開しようとして決定しました。今後はこれをどう展開していくかが課題です。

神戸という街は歴史的にも多面的な街であると思うのです。というのは、神戸は新しがり屋で何でもどんどん取り入れていく先取り精神に富む、まさに時代の先端を切ってきた合理的な性格をもつ街です。今までは生産の側からのみ、消費者に情報が提供されてきたわけですが、現在では生産の経済性効率性から見て逆に消費者側による情報が生産される時代となっています。80年代は情報の時代といわれていますが、このような背景を従え、神戸独自の環境を生かして、トータルファッションフェアを経済界が丸となってやろうというわけです。これから情報産業化時代にふさわしい開花が期待できますね。

伊賀 私も神戸トータルファッションフェアに代表するイベントづくりは、将来の都市の活性化にとって実に有



鬼塚 喜八郎さん



伊賀 隆さん



諸岡 博 熊さん

効な手段だと考えています。こういったイベント群は神戸の街全体をファッション化していくような方向で、じわじわと盛り上がりつついくものになると素晴らしいなあと思いますね。神戸ではシンボルロードというものを造り始めていますが、すでに大阪で御堂筋のショーウィンドーを明るくきれいなものにしよという運動を進めていますね。私はこれを神戸が先にしても良かった。

私はついぶん前から主張していたのですが、大阪に先を越されたなあという残念な気持ちも多少あります。たとえば、フラワーロードから新神戸駅までの街並みの中でショーウィンドーを统一的にきれいにしていたら、とても美しい街になっていたのではないかと思うんです。私は、ショーウィンドーに限らず、何か統一的なテーマで街全体をシンボル化していく方向が街の活性化にひと役買うことができると思うのです。つまり、都市全体のファッション化の中に、ファッションが根づいているということになれば非常に面白いなあと思うわけです。さらに、活性化の起爆剤としてイベントを企画するにしても、そのイベントに世界的な権威のあるグランプリ的な賞を設定することが、より意味のあるイベントになると思うのです。こういう形式は映画祭などでは有名ですが、イベントの中にモニュメンタルなものを中心に展開していくことも大切です。また、イベントをうつ方向についても、大阪が特に東京に対して意識的になり、国内でのライバル的な競争よりも世界へ向けてさまざまなメッセージを神戸発で打っていくことが重要といえます。たとえば、神戸からパリ直結、あるいはミラノへ、というふうにしていく。その対策として神戸の姉妹都市をもっと増やすとか、市民レベルでの外交が、今後大きな鍵となるように思います。

#### ★神戸にもう一度新感覚の居留地を

鬼塚 神戸市は比較的、市民外交のさかんな街ですが、異文化のよい面を吸収し、イベントの価値を大きなもの

にするためにも、欧米など先進国ばかりにかたよらないで、南太平洋や東南アジアの諸国とも大いに姉妹関係を結ぶべきですね。

伊賀 世界各国の都市と神戸市が姉妹都市提携を結んで神戸のファッションタウンに全世界の人々に集まってもらったら、きつと面白いですよ。

鬼塚 私は、生の外国文化を咀嚼し、改めて日本文化を見つめ直すための方法として、かつての閉鎖的な形でない新しい意味での居留地をもう一度設けたらどうだろうと考えているのです。また、そういった居留地として外国の人々が容易に居ついてくれ、同時に異文化をもちこみやすい環境をつくり出すことができるのは神戸だけでも思うんですよ。

諸岡 そういう意味では、元町の南京街が非常にいい例を示しています。これが、世界各国、さまざまな人種に広がって特色ある街づくりがなされれば、大変面白いものになりますね。

鬼塚 居留地とはいっても、昔とは違ったもので、行政サイドからも制限のゆるいものであり、住む人々も学生や学者、貿易商ありで世界に通じる新しい文化が生まれるものが大切です。

諸岡 須磨のインターナショナルセンターがいわばこれに近いものですね。これがもつと街の中へ、我々の生活の中へ溶けこんでいくことが大切です。

鬼塚 姉妹都市と市民外交の輪を広げていくこと、さらに市民外交の最たるものは新しい居留地づくりです。このことよって、最も端的に文化交流と都市の活性化は行なわれる土壌が生まれるわけです。

伊賀 1年が54週ありますから、54カ国の週間を作れば一挙に国際的な動きになります。

鬼塚 そうです。アメリカカ街区、フランス街区、ドイツ街区などと作っていけば大変面白い。特に今、貿易障害などが問題になっていますが、日本に住みついて日本の文化をより肌で感じてもらえれば、こういった障害もな

くなつていくわけです。かつて先進国と呼ばれた国々は同時に戦勝国であり、関税、非関税問題についても敗戦国である日本に対して、いわば押しつけの論理でしか対応していない。ところが、今では、それではだめなのだという点をわかってもらう必要があります。

伊賀 アメリカにしても、オレンジと牛肉さえ自由化すれば、そう大きな問題にはなりませんものね。

鬼塚 今までの日本の諸外国との流通のあり方は、やはり外国へ出かけていって物を売りこんだわけですが、これからは、世界のバイヤーを日本へ呼んで、商品を見ていただく、それも見本市というだけでなく、いろんな楽しいイベントを素晴らしい演出にもりこんで市民参加の形で実行していくことがとても大切なんですね。

ところが、現実のところ、これを行なう容器物がまだまだ貧弱なのです。神戸がコンベンション都市といわれても充分なものにはなっていません。現在の国際展示場が約2000坪ですが、この規模のものが少なくとも5つぐらいなければだめです。メッセで有名なドイツではこうしたものが15から20程度はあり、実に多彩な施設が充実しています。ワールド記念ホールは大変素晴らしいものですが、アリーナとしてスポーツには最適ですが、展示場としては不足な点もあります。一方、千葉県がコンベンション都市宣言を行ない、ディズニールランドの近くに広大な10万坪ぐらいの土地を予定していますが、神戸も施設充実とともに、定期的なショーやイベントで内実ともに実りあるものへと向うべきですね。

諸岡 施設の問題に加えて、展示のスタイルが非常に多様化してきたことも大切な点です。かつては陳列にすぎなかったけれども、イベントの要素が加わって、それぞれのスタイルにあった容器物が必要になってきました。鬼塚 イベントの内容と施設充実に加えて、次の段階には、それを上手く演出できる人材をどうやって育ていくか、ということも忘れてはならない点です。大学という学問の場がありますが、もつと経済界に密着したより

具体的な人材育成の場が必要です。つまり、世界中からすぐれた人材が集まってくるような、芸術の教育機関として、いわば、フアッション大学を考えていかなければなりません。

諸岡 その基本になる芸術系と、最近特にめざましい発達をしている先端技術開発に相当する工学的な技術をもつ人材の育成ですね。

伊賀 そのためには、国に依存するのではなく、民間でぜひとも頑張る必要がありますね。

諸岡 また、イベントの演出に関していえば、今まで演出家は日の当たらない存在でしたが、これからは大いに注目をあびることになるでしょうね。大阪の築城400年祭で感心したのは、ずいぶん多くの若手プロデューサーが育ってきている点です。ただ、これくらいの大規模なイベントになると、やはり東京勢の文化ブレインが使われ、プロデューサーも東京から来るわけで、この点で今後は関西独自の人材に期待したいですね。

伊賀 大阪21世紀計画では、実にさまざまな大きなイベントが行なわれるわけですが、ドイツのメッセなどを考えると、いくら大きいといっても海外では当り前の催しなんですよ。

鬼塚 ドイツなどでは、施設の全機構を使う規模のものと一部だけ使用するものがあります、いずれにしてもかなりな規模で、多彩な内容もっていますからね。

諸岡 先日、ケルンで食品展がありまして、私どもの社員がこれに参加したのですが、見本市会場を3日間歩きくたびれて、まだ全部を見ることができなかったそうです。それぐらい広いんですね。

鬼塚 はじめての時は何もわからずに、とにかく歩いて回る、2回目の時は何を見ようかと考えてから見る、その次には、それじゃ、これとあれとを見ようというふう

に決めてから見るわけです。諸岡 そうです。一週間泊まっても見きれないんです。日本でもこういう厚みと内容の濃さがほしいですね。

## ★ユニバーシアードの盛り上りをスポーツ都市化へ

鬼塚 神戸トータルファクションフェアにつづく、ユニバーシアード神戸大会のような国際的なスポーツイベントはおそらく日本では21世紀まで見ることができないものだろうと思います。それだけユニバーシアードの意義は大きく、エドモントン大会で見られたようなボランティア活動についてもロータリークラブやライオンズクラブ、青年会議所などの諸団体が組織的に動き、県や市、さらに民間の企業でも一業種一社、約38社がオフィシャルサプライヤーとなって活動しますから、かなり大きな盛り上りをもって大成功を収めるものと思います。しかし、大切な点はこの成功のあとをどうするかということ。今年の夏に、神戸経済会議の答申が行なわれ、スポーツ都市宣言への提言がなされましたが、ユニバーシアード後のスポーツ施設利用を考える時、市民が一体となったスポーツ都市づくりが期待されますね。

伊賀 イギリスでは、人口10万人くらいの小さな町でも実にスポーツがさかんで、いろんなグループがあつて行政サイドは登録さえすれば外国人にも入会を勧誘するんです。行政側が一方的にスポーツの組織づくりをするのではなく、いわば上手にパイプ役を果しています。

鬼塚 市民によるスポーツクラブをどんどんつくって、設備利用をうまく行なうことですね。今、高年齢者の健康保険がとりざたされていますが、スポーツによって老人の健康が守られ、医療費が低くなっているという報告が和歌山の湯浅町などで実証されています。こういう方向でスポーツ施設の利用ができればいいですね。

諸岡 神戸では、六甲全山縦走市民の会があり、当初は市が援助をしていたのですが、今ではすっかり定着しています。これに関するボランティアも150名になって、スポーツとボランティアが一体化したよい例です。今、このようなクラブがどんどんできつつありますが、行政サイドがうまく育てていって、あとはブレイガイド的な役

割をつとめていくと、市民のスポーツへの意識も高まっていくと思います。

伊賀 そうです。ユニバーシアードにしても、イベントがその期間だけでなく、何かあとに遺産を残していくことが大切ですね。

鬼塚 私がエドモントンへ行きまして痛感したことの一つに空港があります。エドモントン市は人口60万人の都市でありながら、国際線とローカル線の2つの空港があるんですね。

神戸市が現在130万人の人口をかかえながら空港をもっていないというのは、世界の都市の常識からいって、非常にもの足りないわけです。以前から空港問題については、泉州沖と神戸とのつな引きの状況で現在に至っているわけですが、伊丹空港がいわば手づまりの状態にある点からも、泉州沖空港の補完としてぜひとも神戸沖空港は不可欠だし、空港のない未来都市はどうしても充分とはいえません。

伊賀 サンフランシスコ湾には2つの空港があります。これを大阪湾と比較してみても同様に2つぐらいの空港があつて当然ですよ。

諸岡 空港建設については、あまり神経質にならずにもっと前向きに考えるべきですね。安全対策さえ確実ならば付帯施設は簡素なもので充分です。

伊丹空港にしても15年前はバラックだったのですから、最初からすべてに亘って完璧なものと考えれば、よいものがつくれません。

鬼塚 神戸の活性化を図るイベントをさらに何倍かの実りあるものにするためには、どうしても空港が必要ですね。コンベンション都市、そして、ファッション都市、さらにはスポーツ都市として国際的な都市として未来に飛躍すべく、神戸は夢にならう未来都市なのですから市民が一丸となって明日を一步ずつ着実に歩んでいってほしいと思います。

(神戸ポートピアクラブにて)

### 田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区港島中町6-3-2  
TEL (078) 302-3939

### オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

### カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 福岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センタープラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

### 株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

### モロゾフ株式会社

代表取締役会長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594



〈音楽談話室〉

■ジャズ

# ジャズは万国 共通語です

右近 雅夫  
(トランペッター)



戦後まもなく関学大在学中にデイキシーパーバンドを率いて活躍しながら、昭和30年、一家をあげてブラジルへ移民し「幻のトランペッター」といわれた右近雅夫さん(52)。10月9、10日の「神戸ジャズストリート」の演奏を終えて――。

――どうでした、ジャズストリートは？

右近 とても楽しかったですね。最高でした。でもね、初日は調整ミスしちゃいました。正午から演奏でした。昼食をとるチャンスが逸したもんで、腹が減って、腹が減って「空腹のブルース」でした(笑)。

――28年ぶりの帰国演奏とか。

右近 3年前に商用で帰国した際、西宮のジャズフェスティバルでちよっと吹きましたが、本格的演奏は28年ぶりといっていますね。

――ブラジルでも吹かれてるようですね。

右近 仕事を終えて毎週金曜日の晩、仲間が集まるんです。サンパウロのジャズをやっている店にね。今のバンドはサンパウロ・デキシールランド・バンドといって7人編成です。バンドのみんなは全員国籍が違っているんですよ。あの国は人種が雑多ですから。昼間は別の仕事をもち、金曜日の晩

に夜通しプレイするんです。

私はマジックインキ、サインペン、工作ペイントなど文房具関係の会社を経営しています。

――ブラジルではどうやってジャズメンの仲間入りをしたんですか。

右近 向こうでアマチュアバンドを発見して訪ねていったんですよ。「私も吹くんだが」と言ったら「やってみるか」という感じで。吹くと「どうしてオマエがこの曲を知ってるんだ」。ジャズには国境がない。万国共通語なんです。

★デキシーパーの即興性が肌に合う

――トランペットを吹くキッカケといますと？

右近 中等部から大学まで関西学院なんですけどその高等部の頃、授業をさぼってよく映画を見に行っていましたね。ある時エスター・ウイリアムズ主演の「水着の女王」を見ましたね。その中でハリ・ジェームスがカッコよくトランペットを吹いてたんです。それに憧れてがキッカケです。

――すると高校生の頃からですか。

右近 高校三年のときからです。その後、大学では軽音楽部に入学しました。最初はビッグバン

ドでグレンミラーなんかのスイング系をやっていたんですもやっていたうちにチヨット違うなと思ってデキシシーをやり始め、デキシシーランド・ハートウォーマースという学生バンドを作ったんです——デキシシーの草分けのバンドですね。さっきの「チヨット違うな」でデキシシーというのは？

右近 ビッグバンドは楽譜通りにやらなくてはイケませんわね。もう少し自由な感じでやりたいと思っただけでしょうね。

——アドリブ性ですね。



「子供のころはシャイで音楽嫌いだった」と右近さん

右近 そうですね。今回のジャズストリートにしても、リハーサルなしのぶっつけ本番でしょ。相手の出方を見たり、インスピレーションを感じてノッていくわけです。デキシシーをやったからできるんでしょうね。やっぱり即興が肌に合ってるんですね。

——ジャズは、とりわけアドリブ演奏は、人間性が出てくると思いますが、子供の頃の右近さんはどんな人でした？

右近 昔はシャイで、ホント内気で、そのうえ小学校時分は音楽が嫌いだったんです。そんな性格をトランペットが変えてくれたともいえますね。

#### ★相互のインスピレーションを信頼する

——ジャズが仕事に役立ったことはありますか？

右近 それはいいですね(笑)。やっぱりビジネスはビジネスですから(笑)。でも自分にプラスしたのは友達がすぐできることですね。向こうではアミザード(友情)を重要視するんです。だからジャズがとりもつアミザードは随分あります。ブラジルに渡ったときも寂しい思いをせずに済みました。

——右近さんが影響を受けたジャズメンは？

右近 最初はさっきも言ったようにハリー・ジェームスです。それからバーク・ジョンソン、マークシー・スパーニア、ワイルド・B・デビソンです。今一番の影響はエディ・コンドンですね。

——奥様はブラジルの方ですが、音楽に関係アリですか？

右近 パーティがありました、そこで出会いました。私も演奏する予定のパーティでした。彼女は友だちの友だちでした。彼女はブラジル人なんです。最初は家族の反対もあったんですが、二人で頑張って結婚することができました。(右近さんはおむろに家族の写真をバッグからとり出し、これが妻で、これが息子ですと見せてくれた。そのしぐさは外人のそのように自然だった)

——音楽以外に興味といいますと？

右近 絵を描くことです。展覧会をやったこともあるんですよ。好きな画家はロートレックです。

——久しぶりの日本の演奏でしたが若い人との共演でズレや抵抗感はなかったですか。

右近 全然なかったですね。相互のインスピレーションを信頼してやれば違和感はありません。国籍も年齢も超えてジャズは普遍です。

(ワシントンホテル、カフェ・ド・パリにて)



Music Lounge

〈音楽談話室〉

■ジャズ

# 米ジャズ界注目の マコト・オゾネとは？

小曾根 真 (ピアニスト)

A Solo Piano  
Full of Power  
From Ozone

Makoto Ozone, a relatively unknown young pianist who has won the  
Down Beat Magazine Student

——ジャズ界の世界5大祭と言えば「クールジャズフェスティバル・イン・ニューヨーク」「ベルリンジャズフェスティバル」「モンタレージャズフェスティバル」「モントルージャズフェスティバル」「ノースシージャズフェスティバル」の5つだが、22歳ですでに前者3つに出演した神戸出身のピアニストがいる。ポストン在住の小曾根真(22)だ。パークリー音楽大学を首席で、しかも3年で卒業した彼の近況を同じピアニストである父親、小曾根実さんに伺った。

——真さんは今年の6月末のクールジャズ祭で見事カーネギーホール出演を果たされましたね。

小曾根 ええ、神戸の22歳そこそこの子がカーネギー出演なんてとてつもない事やってくれました。マー坊(真さんの愛称)が出たのはメインのジャズ祭の前に行われるリサイタルやった。5時から6時という人の集まりにくい時間帯にもかかわらず、神戸文化ホールの中ホール位の大きさのところに8割は入ってたかな。

——彼のプレイはいかがでしたか。

小曾根 カーネギー出演前後、日本テレビがマー坊の私生活をずっと追いかけていて、カーネギー

を目前にマー坊がナーバスになるだろうと予想してたらしい。ところがマー坊のやつあつからんとしていてね、当日になっても演奏曲目も決めへん。もしかするとあいつ逆にそう振る舞ってたのかもしれないね。当日の1時頃、ようやく、チック・コリアやマー坊自身のオリジナルとか入れて曲目決めてた。その時、僕、マー坊に「なあ、エリントンメドレーぐらいやって、お前のストライド聞かせたらどないや」言ったら、「そうやな」言うて加えよった。ところが、このリサイタルは持ち時間がきっちり1時間で、あいつ時間が足りなくなってエリントンメドレー飛ばしよった。リサイタルの後で、マー坊と「エリントンはやるべきやったな」なんて話してたんです。すると3日後のニューヨークタイムズの記事にもそんなことがチクリと書いてあった(笑)。でも、マー坊のことを絶賛してくれましたよ。

——真さんはお父さんの影響もあって、小さい頃から音楽的センスに優れていたんでしょうね。

小曾根 そうやね。3歳の頃だったかな、僕のステレオをあんまり触るもんだから、安物のプレイヤーとスピーカーを買ってやり、ジミー・スミスの

LPなんかと一緒に与えたんです。すると4歳頃にはもうハモンドでジミー・スミスをコピーしてましたね。ところがオリジナルではFの曲をF#で弾いてた。おかしいなと思ってマー坊のプレイヤードで聞いたらやっぱりF#に聞こえる。こりゃあかんと思って僕のステレオ使えいうた。その時、小さい頃の音感教育って大切やなと思いました。ただ面白いことにF#って我々の一番嫌がる音でね、でもマー坊の頭にはF#のキーが最初に入ったから



上/パークリー音大顧問、クインシー・ジョーンズ氏から卒業証書を受け取る真さん 右上/クールジャズ祭の時に家族で(中央はジャズ評論家の児山紀芳氏、右から2人目が真さん) 下/ニューヨークタイムズの記事(1983.7.2)

何の抵抗もなく弾ける。逆にマー坊の強味になってるんですよ。それとマー坊が12歳の時、一緒にオスカー・ピーターソンのコンサートに行った。その時あいっすごく感動して、独学で3年位ピーターソン目標に弾いてた。15歳の時にはピーターソン完全にマスターしてましたね。お風呂に入っても指を広げる訓練してね、E♭の10度が届くんです。するともうサウンドが我々と全然違ってくる。

——パークリーで勉強するのは真さんの希望だったのかな。

小曽根 昔から行きたがってたね。高校(真含高校)卒業後しばらくしてから、まずパークリーのサマースクールへ行き9月に本校へ入学したんです。ところが最初のペーパーテストの点が悪くてピグナークラスに入れられてね、僕に「こんな所いでも仕方ないよ」なんて手紙書いてきた。それで僕は「マー坊、もう少し辛抱して色んな所とコンタクトとってみるよ」って言ってやった。すると

——弟の啓さんもパークリーにいらっしやるとか小曽根 ええ、サククスをやっています。あいつは突然パークリー行きたい言い出しましてね、マー坊におとらずいい成績取って頑張ってますよ。

——真さんは現在はどうな音楽活動を？

小曽根 ボストンのライブハウスで演奏したりレコーディングしたりしてますよ。パークリーの先輩、ゲリー・パートンや顧問のクインシー・ジョーンズがマー坊のことが可愛がってくれていてね、ゲリーとのレコードももうすぐ出ます。チック・コリアともいい友達になったみたいやし、マー坊は放っておいても世界的スケールのプレイヤーとして成長していくと思うね。日本へ帰って来るのはビッグコンサートなんかで、アメリカから逆輸入されてくるっていうのが本来のマー坊の生き方かもしれないなあ、なんて思っているんです。

# Music Lounge

〈音楽談話室〉

■バロック

“Heart”で出会った

バロック音楽

延原 武春

〈テレマン室内管弦楽団  
合唱団主宰・オーボエ奏者〉



テレマン室内管弦楽団及び室内合唱団を主宰、オーボエ奏者でもあるかたわら、関西に室内楽活動の根を定着させ、またこの秋、神戸市文化奨励賞を受賞した延原武春さんにお話を伺った。

——まず最初に、テレマン室内管弦楽団の歩みを紹介していただけますか。

延原 ちょうど今年で20年になります。始めた当時は三人でした。リコーダーの北山修、チェンバロの宮原富子、そして私です。名称も大阪テレマンから日本テレマンアンサンブルとなり、それから現在のテレマン室内管弦楽団となりました。人数も今では70名位になりましたか。三人で始めた時は、とにかく僕たちはテレマンの曲が好きで、日本のみんなになぜテレマンの曲が楽しいのか、を紹介したくて必死でしたね。

——バロック音楽との出会いといえますと…

延原 触れ合いは自然です。僕は、附属高校から音楽を専門にしている、オーボエを吹いていたんです。そのオーボエの曲の中で好きな曲が、テレマンだったわけです。だから、テレマンとの出会いは、テレマン自身より“曲”の方が先でした。オーボエを吹いていて、ある日「こんな素晴らしい

ものがあったのか」と、初めて自分のものを見たような気がしたんです。音楽なんて、そういうもんじゃないですか。こうなっただけで、こうなっていくといった理論なんかじゃありませんよ。(笑)

——バロック音楽の魅力とは何でしょうか。

延原 人間的な音楽だったんですよ。僕は人間が好きなんです。音楽の権威なんてあるかどうかは分からないけれど、あるとしたら、私がそれを決めるのではなく、音楽を聞く人々が決めるものじゃないですか。テレマン自身も自由都市であるハンブルグに住み、自分を生かしながら人々を喜ばすことのできる温かい音楽を広めてきました。そういう意味では、バッハが神々へ通じる偉大な音楽なら、テレマンは、人間臭さに満ちた温かい音楽家だったんですよ。

——11月29日に神戸外国倶楽部で「バッハとその友だち」と題したコンサートを演られますが、ワインパーティーも兼ね、面白い企画ですね。

延原 そうですね。いろいろ例会として教会コンサートなどしていますが、とにかく、来て下さる方に対する“思いやり”“語りかけ”を心掛けています。室内管弦楽団は構成する人員の増減に

よっていわば伸縮自在ですから便利です。オーケストラでは大きすぎても、室内楽団ならファッションショー・ディナーショーなどにも自由自在に利用することができます。

語りかけが大事だと言いましたが、実際僕はお話も好きですよ。演奏の途中で、語りを入れながらやるんです。舞台芸術にも言葉があつていいんじゃないですか。音楽会でも演奏を聴きにきて下さるお客様とのコミュニケーションが大事だと思っ  
うんです。実は昔、絵か音楽のどちらかに進もう



「頑張れ、頑張れ、と自分を励ましているんです」

とした時も、みんなと一緒にやりたかったというのが音楽を選んだ理由なんです。

——今秋、「神戸でバロックを」という催しがあり好評でしたが、神戸とバロック音楽について。

延原 神戸は期待できますね。町全体と音楽とがうまくマッチしながら、お互いに伸びていきます。繁沢に過ぎると言えば語弊になるかもしれませんが、豊かな神戸の町全体に、確かにバロック音楽は定着しつつあります。それに、ホームパーティーなどが好きな異国の人々が多いというのも、バロックが愛されていく源なのかもしれないですね。日本人は、音楽家イコール芸術家とのイメ

ージができ上がっています。外国の人々にはそんなものはありません。私の求める「人間の顔を」に「触れてくるような気がしますが」。

——神戸市文化奨励賞を受賞されましたが。

延原 なんか僕個人が賞を貰いたみたいなんですけど、正直言って、一緒に今までやってきた仲間を支えられて来ただけなんです。

僕はもともと大阪の出身で、神戸に住み始めたのは8年前からです。神戸はいい町です。神戸が好きだから神戸のためにできるだけのことはやりたいですし、それに、神戸の人間じやなかったからよけいに、自分がしなければならぬことがわかるんだと思います。

神戸市から奨励賞を頂いた時から、さかんに自分に「頑張れ、頑張れ」と言っているんですけどねえ。笑。自分がこれから、どれだけインタナショナルにやれるかは分かりませんが、新しい何かを始めてみようと思っています。

——延原さん自身、これから油ののる年代になってきた感じですか。

延原 そうですね。今までは、人が好きで音楽が好きで、コミュニケーションしながらやってきました。40になった今からは、自分のやりたいことをやる前に、まず、自分自身を大きな人間にしていかなければと思っています。バロックだけでなく、モーツァルト、ハイドン、ベートーベンまで広げ、パトリオリズムを増やしていきたいですね。こんなことをしていく音楽家は少数派なのでしょうけど、勇気をもたなければ文化の新たなページは生まれません。東洋人がゆえの抑制された精神を持ちながらも、時代を先取りしていきたいですね。与えられた枠の中でやっていく者もいれば、ぶっこわしていく者だっているんですから、僕は、勇気と信念を持って挑戦していきたいですね。

〈音楽談話室〉

■クラシック

# きれいな音を 出したいわ

北浦 洋子 バイオリンリスト



昨秋、西ドイツから帰国し、1月には神戸でフルートの金昌国氏らと風見鶏コンサートに出演、4月には第96回県民コンサートでピアノの田原富子氏とのリサイタルを開催する一方、神戸室内楽合奏団の一員として活躍中の新進バイオリンリスト北浦洋子さんにお話を伺った。

★本当の自分らしさが音に表わせれば最高。

——10月の神戸市立博物館でのコンサート『神戸でパロックを』は、いかがでしたか。

北浦 私の演奏したハイドンのバイオリン協奏曲第1番は第2楽章がとても好きですね。メロディがきれいだから聴いている人にも人気があるようです。第3楽章は軽快な感じで楽しく弾きたかったです。第3楽章は実際にそう弾けたかどうか、少し心配です。

——バイオリンとの出会いは

北浦 私が幼稚園の頃、兄がバイオリンを習っていたんです。それで兄のレッスンについていったり、あげくには兄のバイオリンをとりあげてしまったそうです。母の話によると、子供用のバイオ

リンを買ってもらって、小さいと踊りながらバイオリンを弾いたというんです。

——周りの環境が音楽に恵まれていたのですか。

北浦 両親はクラシック好きでしたけれど特に音楽一家というわけではありません。

——すると、英才教育を受けたのですか

北浦 というより、自分のしたいことを自分で選んで努力するというタイプですね。バイオリンも中学生の時、ピアノかどちらかにしなさいといわれて、バイオリンを選んだ結果なんですよ。

——演奏についてはどう考えていますか

北浦 私はいつもきれいな音を出したいと心がけています。また人それぞれ顔が違いますが、音楽にもいろいろな好みがあっていいと考えているんです。というのには「ハイドンはこう弾く」というお手本はあっても、こう弾かなければならないという約束はないのではないかと考えています。のびのびと、本当の自分らしさが音に表わたせたらそれに尽きることはないと思います。

★練習は、ときどき、楽しいです

——西ドイツでの留学について

北浦 私はハノーヴァー国立音楽大学の大学院でラミー・シェベロフ先生に師事したのですが、先生には大きな影響を受けました。印象的なことはバイオリンという楽器が身体の一部にならなければ良い演奏はできない、と先生に教えられたことです。練習もまたそうなるくらいに努力しなければならぬ、そうするとバイオリンが自分の好きなように弾けるようになる……。そうは言っても、実際には練習というのは全部が楽しい、とい



「たいていのお料理は作れます」と、北浦さん

うわけではないんですよ。だから、私は練習は嫌だなあと思わずに、少しでも楽しくやろうと心がけています。そうすると、聴いている人も自然と楽しくなりますから。

——今は、練習についてどうですか？

北浦 うーん。そうですね。ときどき楽しい(笑)——興味をもっている演奏家について

北浦 このあいだテレビで、パールマンを見たんです。ヴァイオリンを楽しく弾くという点でも、非常に魅力的な人ですね。パールマンを見ていると、楽しくてしかたがないという感じで実際にのびのびと弾くんです。彼の鮮明な音も好きですし、

テクニクも素晴らしいうえに、聴いている人も楽しい気分させる演奏家です。

——結婚については？

北浦 女性は結婚してしまつたら、なかなか自分のしたいことができなくなるようです。私はできる限りバイオリンを弾き続けたいと思っていますが、私も女だからどうなるかわかりません。一生独りであることはいらないと思いますが(笑)。

結婚しても今のままでバイオリンを続けられたいから最高ですね。でも、日本の男性は独占欲が強いから、なかなかそうはいかないと思います……。今は、とにかくバイオリンのことで頭がいっぱいです。だから、普通の専業主婦にはなれませんね。

——お料理などはどうですか？

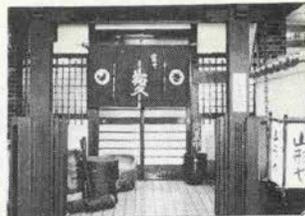
北浦 西ドイツでは3年半程、独り暮らしでしたから、たいていの料理は自炊できます。たとえばお豆腐などは、もちろん西ドイツにありませんから、本豆腐から作っていました。御飯だって電気釜がなくても炊けます(笑い)

★恩師とともに神戸でリサイタルを！

——最後に、今、いちばんの夢は

北浦 そうですね。バイオリンを弾き続けたいことと、その延長として、ゆくゆくは神戸で大きなコンサートを開きたいなと思っています。

それから、今年の夏にラミー・シェベロフ先生の講習を受けにヨーロッパへ行く予定だったので、先生のお体の具合が悪くて行けなかったんです。先生は脳の手術をされてまだ回復していない様子です。先生のお体が良くなつたら、いつか先生を神戸へお連れして、リサイタルを開きたいと思っています。(自宅の練習室にて)



山形や裕久コレクション・14

料理にしろ陶器にしろ、逸品には年季が入った分だけ味が出て来る。味を身上とする山形や裕久では、古陶器の器に季節の料理が盛りられる。「通の方ほど嬉ばれる」とご主人が言うように、「本物の味」が堪能できる数少ない店だ。ちなみに卓上に置かれているのは伊万里軍配図皿、出石鳴き徳利、三田鳳凰図飯茶碗、織部飯釜、そして、野田焼盃。

古陶器ファンならずとも一度は訪れてみたい店だ。



## ● 古陶器の逸品で味わう季節の風味・・・



焼鳥 釜めし

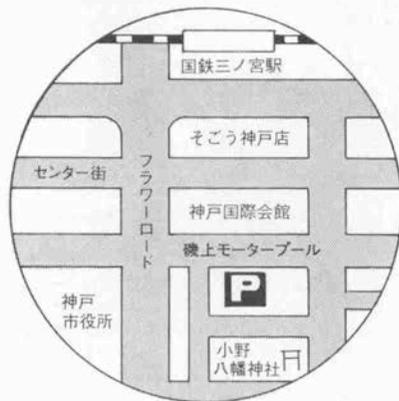
# 山形や 裕久

神戸市東灘区本山北町3-11 本山市場東 (阪急岡本・国鉄摂津本山各駅から徒歩3分)  
電話 (078) 452-2905 午後5時-10時 月曜休

※コース (皮、ズリ、きも、ねぎ身、ミンチ、野菜2種類) の他に、旬の味として、うずら、すずめ、鴨ネギなどの野鳥料理、鹿刺し・馬刺しが美味しい季節となりました。 (店主)

12月31日-1月5日は休ませていただきます。

ビジネスに!  
ショッピングに!  
ご利用ください



## 磯上モータープール

● 収容台数 350台  
● 月極 駐車可  
● 年中無休  
(神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873 (8:00AM~11:00PM)